

平成 22 年 3 月 14 日 (日) 実施

第 29 回 建設業経理事務士検定試験 3 級 解説

〔第 1 問〕

- (1) 売却額と帳簿価額との差額 ¥15,000 は有価証券売却益である。
- (2) 他人振出しの約束手形の裏書譲渡は受取手形を減少させ、外注費の未払額は工事未払金で処理する。
- (3) 当座預金残高 ¥225,000 を超える残額 ¥173,000 は当座借越で処理する。
- (4) 前受金 ¥500,000 は未成工事受入金として処理されている。
- (5) 当期純利益なので、損益勘定の貸方残高を振り替える。

〔第 2 問〕

問 1 前期末の未成工事支出金は A 工事と B 工事の前期末残高である

$$552,200 + 129,400 = 681,600$$

問 2 まず A 工事の労務費当月発生高を求める。

$$345,900 - (123,700 + 54,700 + 46,900) = 120,600$$

次に B 工事の労務費当月発生高を求める。

$$522,100 - (153,400 + 120,600) - 16,800 - 187,600 = 43,700$$

以上から、当期発生工事原価のうち労務費の額は

$$120,600 + 43,700 + 187,600 = 351,900$$

問 3 まず外注費の合計額を求める。

$$1,950,000 - 770,500 - 522,100 - 253,400 = 404,000$$

次に B 工事の外注費当月発生高を求める。

$$404,000 - 98,300 - 54,700 - 28,300 - 164,300 = 58,400$$

当月完成した工事は A 工事と B 工事であるから、当期の完成工事原価のうち外注費の額は

$$(98,300 + 54,700) + (28,300 + 58,400) = 239,700$$

問 4 当月発生工事原価は A 工事と B 工事の原価の合計である。

$$(552,200 + 345,900) + (129,400 + 195,700) = 1,223,200$$

工事原価計算表

摘要	A 工事		B 工事		C 工事	合計
	前期末残高	当月発生高	前期末残高	当月発生高	当月発生高	
材 料 費	230,900	123,700	48,900	69,000	298,000	770,500
労 務 費	153,400	120,600	16,800	43,700	187,600	522,100
外 注 費	98,300	54,700	28,300	58,400	164,300	404,000
経 費	69,600	46,900	35,400	24,600	76,900	253,400
合 計	552,200	345,900	129,400	195,700	726,800	1,950,000
備 考	完成		完成		未完成	

(参考)

未成工事支出金

前期繰越	681,600	完成工事原価	1,223,200
材料費	490,700	次期繰越	726,800
労務費	351,900		
外注費	277,400		
経費	148,400		
	1,950,000		1,950,000

【第3問】

21日	(借) 現金	450,000	(貸) 未成工事受入金	450,000
22日	(借) 材料	320,000	(貸) 工事未払金	320,000
23日	(借) 現金	100,000	(貸) 当座預金	100,000
24日	(借) 経費	125,000	(貸) 当座預金	125,000
25日	(借) 支払手形	260,000	(貸) 当座預金	260,000
〃	(借) 販売費及び一般管理費	120,000	(貸) 現金	120,000
26日	(借) 材料費	250,000	(貸) 材料	250,000
27日	(借) 外注費	156,000	(貸) 工事未払金	156,000
28日	(借) 当座預金	630,000	(貸) 受取手形	630,000
29日	(借) 労務費	80,000	(貸) 現金	80,000
30日	(借) 未成工事受入金	250,000	(貸) 完成工事高	900,000
	受取手形	650,000		
31日	(借) 材料	12,000	(貸) 材料費	12,000

※21日の「諸口」は3月20日までの諸取引を表します。

現 金		金	
21 諸 口	2,036,000	21 諸 口	1,398,000
" 未成工事受入金	450,000	25 販売費及び一般管理費	120,000
23 当座預金	100,000	29 労 務 費	80,000
当 座 預 金			
21 諸 口	3,623,000	21 諸 口	2,561,000
28 受取手形	630,000	23 現 金	100,000
		24 経 費	125,000
		25 支払手形	260,000
受 取 手 形			
21 諸 口	1,886,000	21 諸 口	690,000
30 完成工事高	650,000	28 当座預金	630,000
完成工事未収入金			
21 諸 口	3,493,000	21 諸 口	1,793,000
材 料			
21 諸 口	1,346,000	21 諸 口	540,000
22 工事未払金	320,000	26 材料費	250,000
31 材料費	12,000		
機 械 装 置			
21 諸 口	840,000		
備 品			
21 諸 口	336,000		
支 払 手 形			
21 諸 口	689,000	21 諸 口	1,367,000
25 当座預金	260,000		
工 事 未 払 金			
21 諸 口	1,380,000	21 諸 口	2,380,000
		22 材 料	320,000
		27 外 注 費	156,000
借 入 金			
21 諸 口	624,000	21 諸 口	960,000
未 成 工 事 受 入 金			
21 諸 口	1,312,000	21 諸 口	2,314,000
30 完成工事高	250,000	" 現 金	450,000
資 本 金			
		21 諸 口	2,000,000

完 成 工 事 高			
		21 諸 口	5,194,000
		30 諸 口	900,000
材 料 費			
21 諸 口	1,227,000	31 材 料	12,000
26 材 料	250,000		
労 務 費			
21 諸 口	901,000		
29 現 金	80,000		
外 注 費			
21 諸 口	692,000		
22 工事未払金	156,000		
経 費			
21 諸 口	307,000		
24 当座預金	125,000		
販売費及び一般管理費			
21 諸 口	508,000		
25 現 金	120,000		
雑 収 入			
		21 諸 口	17,000
支 払 利 息			
21 諸 口	14,000		

【第4問】

- (1) 材料の取得原価は購入代価に付随費用（引取運賃等）を加えた金額とされる。
- (2) 大陸式決算法では、損益勘定と残高勘定の2つが集合勘定として設定される。
- (3) 市場価格の株式及び社債のうち、売買目的で有するものは有価証券勘定で処理する。

〔第5問〕

(1) 貸倒引当金

受取手形と完成工事未収入金の残高は $\text{¥}320,000 + \text{¥}223,000 = \text{¥}543,000$

$$\text{¥}543,000 \times 2\% = \text{¥}10,860$$

差額補充法で処理するので繰入額は $\text{¥}10,860 - \text{¥}3,200 = \text{¥}7,660$

貸倒引当金繰入額は販売費及び一般管理費として処理する。

(借) 販売費及び一般管理費	7,660	(貸) 貸倒引当金	7,660
----------------	-------	-----------	-------

(2) 有価証券の評価

帳簿価額は $\text{¥}144,000$ なので、評価損は $\text{¥}144,000 - \text{¥}138,000 = \text{¥}6,000$ である。

(借) 有価証券評価損	6,000	(貸) 有価証券	6,000
-------------	-------	----------	-------

(3) 減価償却

工事用機械装置の減価償却費は工事原価であるので、経費として処理する。

一般管理用備品の減価償却費は販売費及び一般管理費として処理する。

(借) 経費	112,000	(貸) 機械装置原価償却累計額	112,000
販売費及び一般管理費	24,000	備品減価償却累計額	24,000

(4) 収益の見越し

(借) 未収利息	2,500	(貸) 受取利息	2,500
----------	-------	----------	-------

(5) 費用の繰延べ

(借) 前払保険料	3,000	(貸) 販売費及び一般管理費	3,000
-----------	-------	----------------	-------

(6) 工事原価を未成工事支出金へ振り替える。

※決算整理事項(3)の経費も含めることに注意

(借) 未成工事支出金	4,232,000	(貸) 材料費	2,320,000
		労務費	960,000
		外注費	630,000
		経費	322,000

未成工事支出金のうち当期完成分を完成工事原価に振り替える。

未成工事支出金の時期繰越額は $\text{¥}676,000$ なので、完成工事原価は

$$\text{¥}390,000 + \text{¥}4,232,000 - \text{¥}676,000 = \text{¥}3,946,000$$

(借) 完成工事原価	3,946,000	(貸) 未成工事支出金	3,946,000
------------	-----------	-------------	-----------

未成工事支出金

前期繰越	390,000	完成工事原価	3,946,000
当期発生	4,232,000		次期繰越